

令和6年度福島県  
家庭ごみ排出モニタリングモデル事業業務委託

モニタリング結果集計報告書

令和7年1月

エヌエス環境株式会社 福島支店

# 目次

1. モニタリング結果.....	1
1-1. 集計対象.....	1
1-2. 西会津町のモニタリング結果.....	1
1-2-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量.....	1
1-2-2. 可燃ごみ発生量.....	1
1-2-3. 1世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	1
1-2-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	2
1-3. 川俣町のモニタリング結果.....	2
1-3-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量.....	2
1-3-2. 可燃ごみ発生量.....	2
1-3-3. 1世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	3
1-3-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	3
1-4. 南相馬市のモニタリング結果.....	4
1-4-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量.....	4
1-4-2. 可燃ごみ発生量.....	4
1-4-3. 1世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	4
1-4-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	5
1-5. 各市町村の比較.....	6
1-5-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量.....	6
1-5-2. 可燃ごみ発生量.....	6
1-5-3. 生ごみの削減率.....	7
1-5-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量.....	7
1-6. モニタリング中の時系列変化.....	8
1-6-1. コンポスト投入量.....	8
1-6-2. 可燃ごみ排出量.....	10
1-7. コンポストに投入した生ごみの種別.....	12
1-8. ごみ減量に対する意識の変化.....	12

## 1. モニタリング結果

### 1-1. 集計対象

参加していただいた 81 世帯の各家庭で、7～12 月の期間中に約 60 日間、可燃ごみ排出量とダンボールコンポストへの投入量の計測及び記録を実施し、記録表の返送があった 55 世帯を対象とする。

なお、可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった世帯が 5 世帯、虫の大量発生により 60 日間実施できなかった世帯が 2 世帯（27 日間、19 日間実施）あった。

### 1-2. 西会津町のモニタリング結果

西会津町の参加住民からの記録表の返送は 14 世帯あり、そのうち可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった世帯が 4 世帯あった。

また、平均取組日数は、約 59.7 日間であり、平均世帯人数は、約 2.7 人であった。

#### 1-2-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量

記録表の返送があった 14 世帯の期間中の堆肥化による生ごみ削減量の総量は約 193.2kg であった。

#### 1-2-2. 可燃ごみ発生量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった 4 世帯を除く 10 世帯の期間中に排出された可燃ごみの排出量は、約 674.5kg であり、ダンボールコンポストへの生ごみの投入量である約 131.2 kg と合わせると可燃ごみの発生量は、約 805.7kg であった。

#### 1-2-3. 1 世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった 4 世帯を除く 10 世帯の期間中に発生した可燃ごみの総量は、約 805.7 kg であり、一世帯当たり約 80.6 kg であった。また、コンポストへの投入量の総量は約 131.2 kg で、一世帯当たり約 13.1 kg 投入された。よって、今回のモニタリングでは、ダンボールコンポストによる生ごみの削減率は、約 16.3% という結果となった。

また、平均取組日数が約 59.7 日間で、対象が 10 世帯であることから、1 世帯 1 日当たりの可燃ごみの総量は約 1,350g であり、1 世帯 1 日当たりのコンポストへの投入量は約 220g であった。

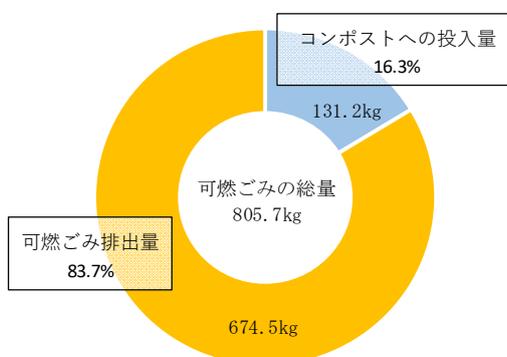


図 1-2-3 西会津町のモニタリング中の可燃ごみ内訳

#### 1-2-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった4世帯を除く10世帯の期間中の可燃ごみの総量は約805.7kgであり、平均取組日数は59.7日間で、10世帯の取組人数は27人であることから、1人1日当たりの可燃ごみの総量は、約500gであった。また、ダンボールコンポストへの生ごみ投入量は約131.2kgであるため、1人1日当たりの生ごみの削減量は約81gであった。

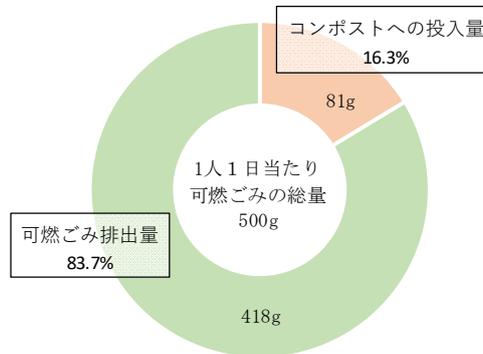


図 1-2-4 西会津町の1人1日当たりの可燃ごみ内訳  
※端数処理のため数値が合わない場合があります

#### 1-3. 川俣町のモニタリング結果

川俣町の参加住民からの記録表の返送は13世帯あった。

また、平均取組日数は、約54.1日間であり、平均世帯人数は、約2.4人であった。

##### 1-3-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量

記録表の返送があった13世帯の期間中の堆肥化による生ごみ削減量の総量は約165.2kgであった。

##### 1-3-2. 可燃ごみ発生量

記録表の返送があった13世帯の期間中に排出された可燃ごみの排出量は、約814.4kgであり、ダンボールコンポストへの生ごみの投入量である約165.2kgと合わせると可燃ごみの発生量は、約979.7kgであった。(端数処理のため数値が合わない場合があります。)

### 1-3-3. 1世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

記録表の返送があった13世帯の期間中に発生した可燃ごみの総量は、約979.7kgであり、一世帯当たり約75.4kgであった。また、コンポストへの投入量の総量は約165.2kgで、一世帯当たり約12.7kg投入された。よって、今回のモニタリングでは、ダンボールコンポストによる生ごみの削減率は、約16.9%という結果となった。

また、平均取組日数が約54.1日間で、対象が13世帯であることから、1世帯1日当たりの可燃ごみの総量は約1,393gであり、1世帯1日当たりのコンポストへの投入量は約235gであった。

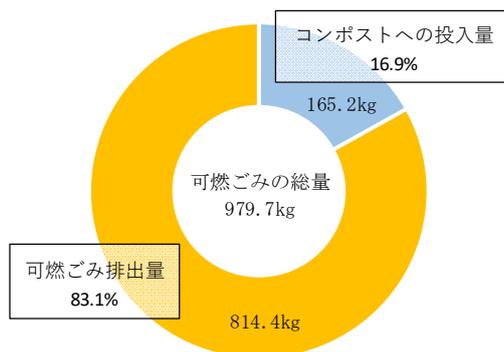


図 1-3-3 川俣町のモニタリング中の可燃ごみ内訳  
※端数処理のため数値が合わない場合があります

### 1-3-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

記録表の返送があった13世帯の期間中の可燃ごみの総量は約979.7kgであり、平均取組日数は54.1日間で、13世帯の取組人数は31人であることから、1人1日当たりの可燃ごみの総量は、約584gであった。また、ダンボールコンポストへの生ごみ投入量は約165.2kgであるため、1人1日当たりの生ごみの削減量は約99gであった。

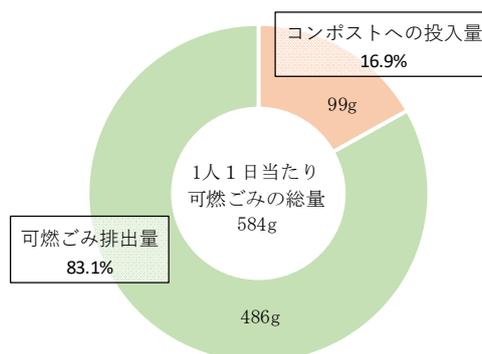


図 1-3-4 川俣町の1人1日当たりの可燃ごみ内訳  
※端数処理のため数値が合わない場合があります

#### 1-4. 南相馬市のモニタリング結果

南相馬市の参加住民からの記録表の返送は 28 世帯あり、そのうち可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった世帯が 1 世帯、虫の大量発生により 60 日間実施できなかった世帯が 2 世帯（27 日間、19 日間実施）あった。

また、平均取組日数は、約 59.0 日間であり、平均世帯人数は、約 3.1 人であった。

##### 1-4-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量

記録表の返送があった 28 世帯の期間中の堆肥化による生ごみ削減量の総量は約 340.3kg であった。

##### 1-4-2. 可燃ごみ発生量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった 1 世帯を除く 27 世帯の期間中に排出された可燃ごみの排出量は、約 1,512.5kg であり、ダンボールコンポストへの生ごみの投入量である約 319.3 kg と合わせると可燃ごみの発生量は、約 1,831.8kg であった。

##### 1-4-3. 1 世帯当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった 1 世帯を除く 27 世帯の期間中に発生した可燃ごみの総量は、約 1,831.8 kg であり、一世帯当たり約 67.8 kg であった。また、コンポストへの投入量の総量は約 319.3 kg で、一世帯当たり約 11.8 kg 投入された。よって、今回のモニタリングでは、ダンボールコンポストによる生ごみの削減率は、約 17.4% という結果となった。

また、平均取組日数が約 59.0 日間、対象が 27 世帯であることから、1 世帯 1 日当たりの可燃ごみの総量は約 1,150g であり、1 世帯 1 日当たりのコンポストへの投入量は約 200g であった。

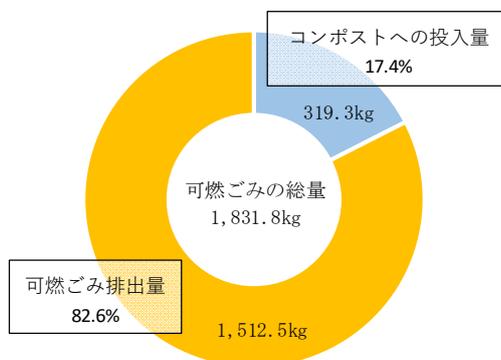


図 1-4-3 南相馬市のモニタリング中の可燃ごみ内訳

#### 1-4-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった1世帯を除く27世帯の期間中の可燃ごみの総量は約1,831.8kgであり、平均取組日数は59.0日間で、27世帯の取組人数は84人であることから、1人1日当たりの可燃ごみの総量は、約370gであった。また、ダンボールコンポストへの生ごみ投入量は約319.3kgであるため、1人1日当たりの生ごみの削減量は約64gであった。(端数処理のため数値が合わない場合があります。)

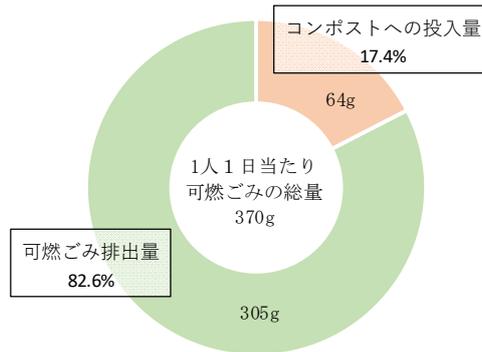


図 1-4-4 南相馬市の1人1日当たりの可燃ごみ内訳  
※端数処理のため数値が合わない場合があります

## 1-5. 各市町村の比較

### 1-5-1. ダンボールコンポストによる生ごみの削減量

記録表の返送があった55世帯の期間中の堆肥化による生ごみ削減量の総量は、西会津町では約193.2kg、川俣町では約165.2kg、南相馬市では約340.3kgであり、全体で約698.7kgであった。

また、一世帯当たりの削減量では、西会津町では約13.8kg、川俣町では約12.7kg、南相馬市では約12.2kgであり、西会津町が他の市町村と比べ一世帯当たりの生ごみの削減量が多い結果となった。

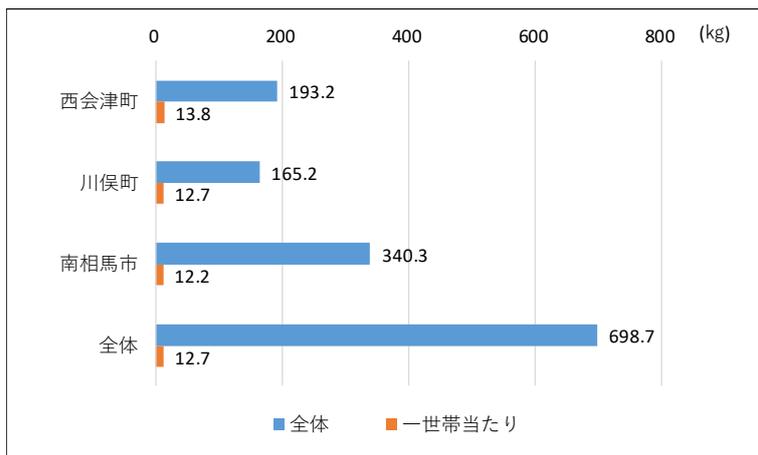


図 1-5-1 生ごみの削減量

### 1-5-2. 可燃ごみ発生量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった5世帯を除く50世帯の期間中に排出された可燃ごみの総量は、西会津町では約805.7kg、川俣町では約979.7kg、南相馬市では約1,831.8kgであり、全体で約3,617.2kgであった。

また、一世帯当たりの発生量では、西会津町では約80.6kg、川俣町では約75.4kg、南相馬市では約67.8kgであり、南相馬市が他の市町村と比べ一世帯当たりの可燃ごみの総量が少ない結果となった。

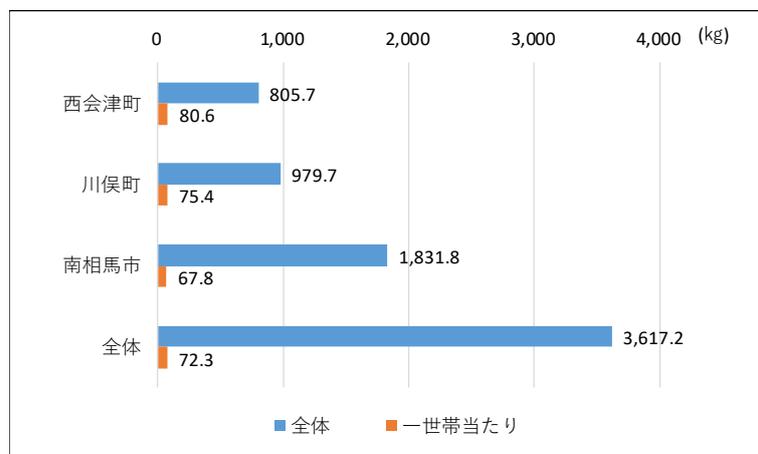


図 1-5-2 可燃ごみ発生量

### 1-5-3. 生ごみの削減率

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった5世帯を除く50世帯の期間中に排出された生ごみの削減率は、西会津町では約16.3%、川俣町では約16.9%、南相馬市では約17.4%であり、全体で約17.0%であった。

生ごみの削減率については、各市町村で1%程度しか変わらず大きな差はなかった。

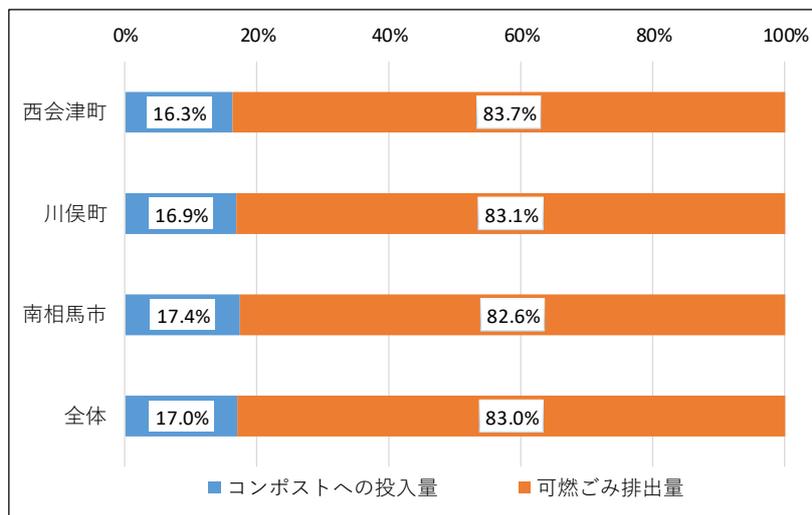


図 1-5-3 生ごみの削減率

### 1-5-4. 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった5世帯を除く50世帯の期間中の1人1日当たりの可燃ごみの総量は、西会津町では約500g、川俣町では約584g、南相馬市では約369gであり、全体で約442gであった。1人1日当たりの生ごみの削減量は、西会津町では約81g、川俣町では約99g、南相馬市では約64gであり、全体で約75gであった。

1人1日当たりの可燃ごみの総量が多い市町村ほど、生ごみの削減量も増加する傾向が見られた。

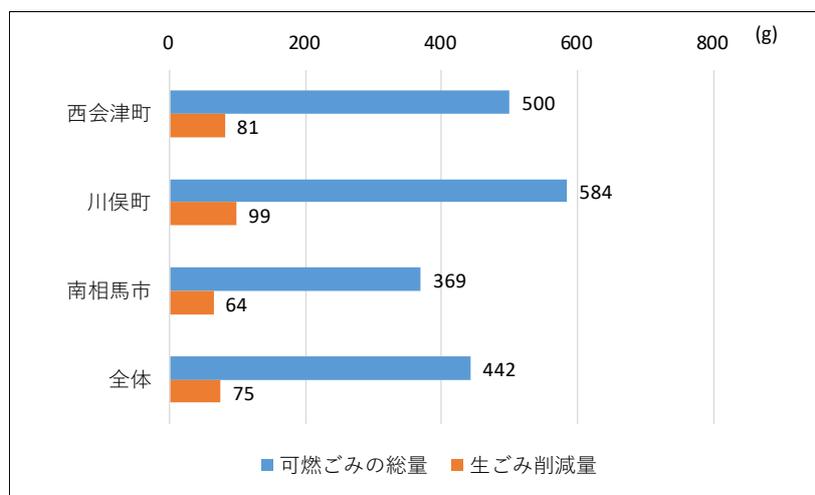


図 1-5-4 1人1日当たりの可燃ごみと生ごみ削減量

## 1-6. モニタリング中の時系列変化

### 1-6-1. コンポスト投入量

記録表の返送があった55世帯の期間中のコンポスト投入量の時系列変化は、西会津町では全期間を通して変化が見られなかったが、川俣町と南相馬市ではモニタリングが進むにつれ、僅かであるがコンポスト投入量の減少傾向が見られた。

減少傾向が見られた要因としては、モニタリングが進むにつれダンボールコンポストの分解能力が低下し、それに伴いコンポスト投入量が減少したと考えられる。

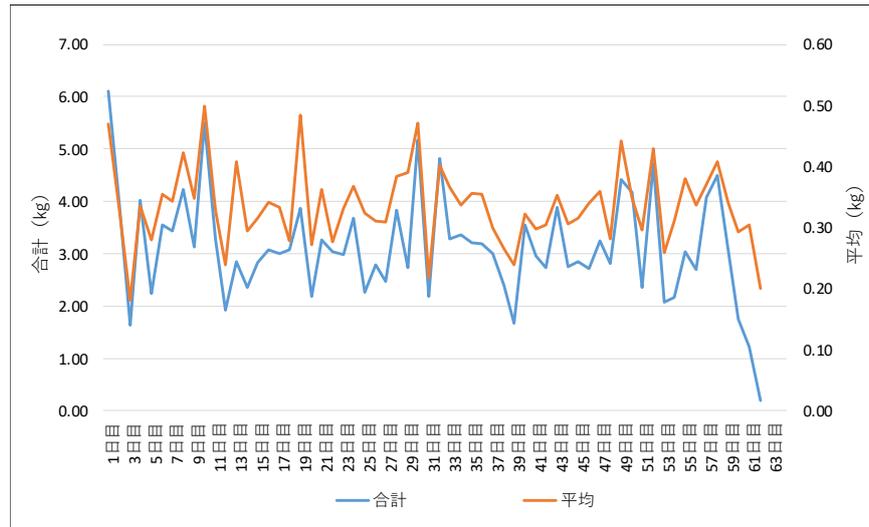


図 1-6-1(1) コンポスト投入量の時系列変化 (西会津町)

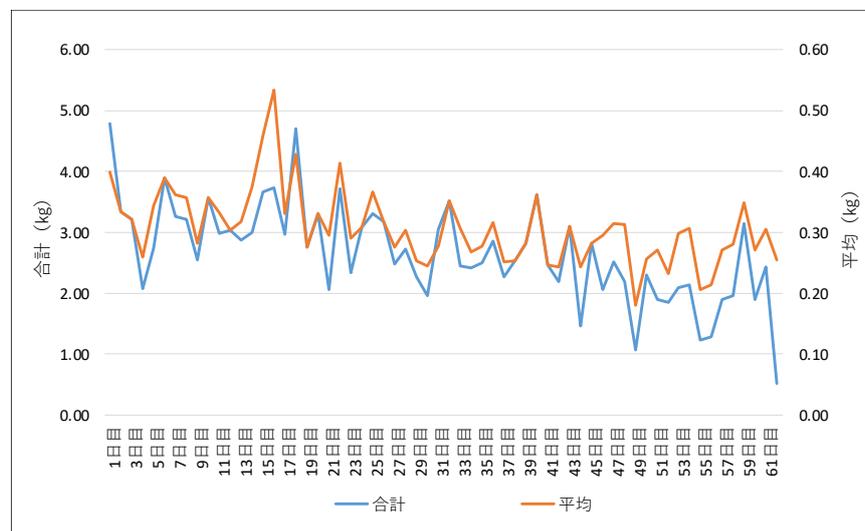


図 1-6-1(2) コンポスト投入量の時系列変化 (川俣町)

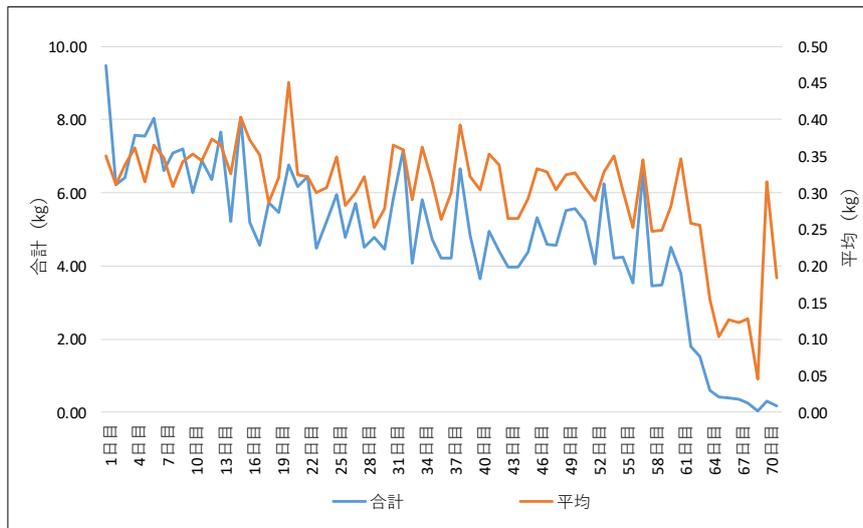


図 1-6-1(3) コンポスト投入量の時系列変化 (南相馬市)

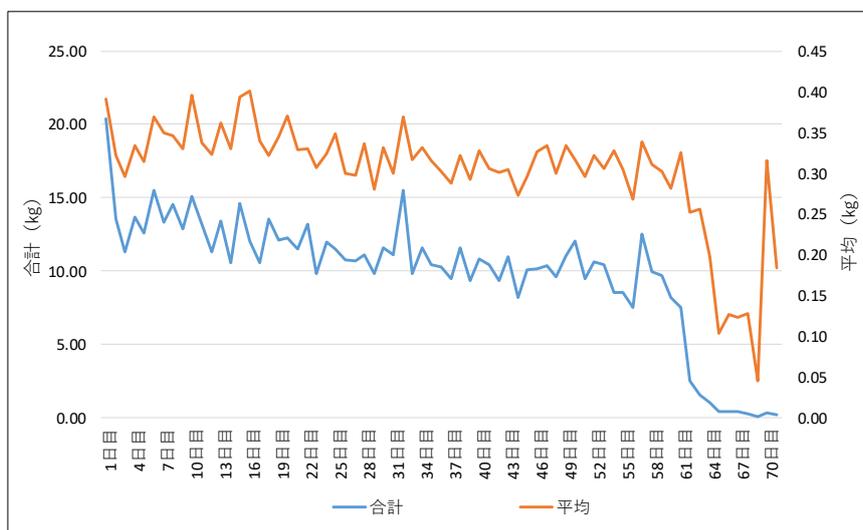


図 1-6-1(4) コンポスト投入量の時系列変化 (全体)

## 1-6-2. 可燃ごみ排出量

可燃ごみ排出量の記録を忘れてしまった5世帯を除く50世帯の期間中の可燃ごみ排出量の時系列変化は、各市町村において減少傾向などの変化は見られなかった。

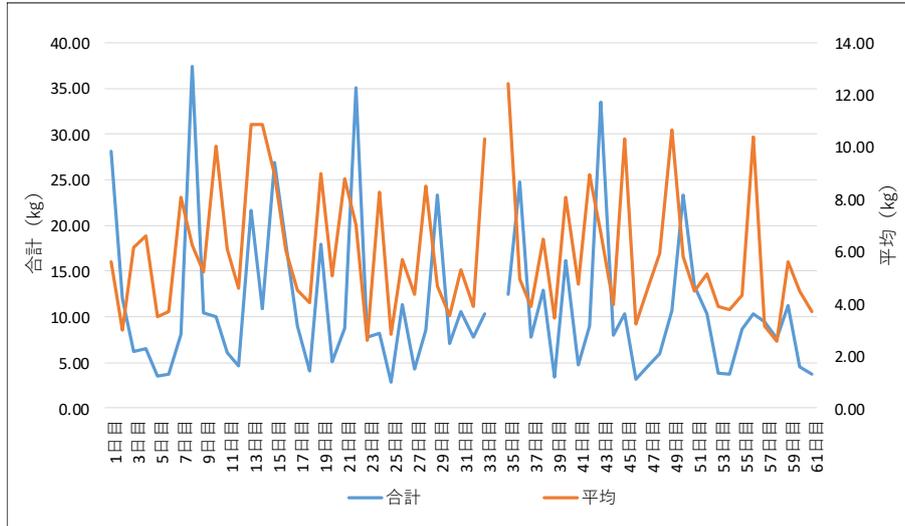


図 1-6-2(1) 可燃ごみ排出量の時系列変化 (西会津町)

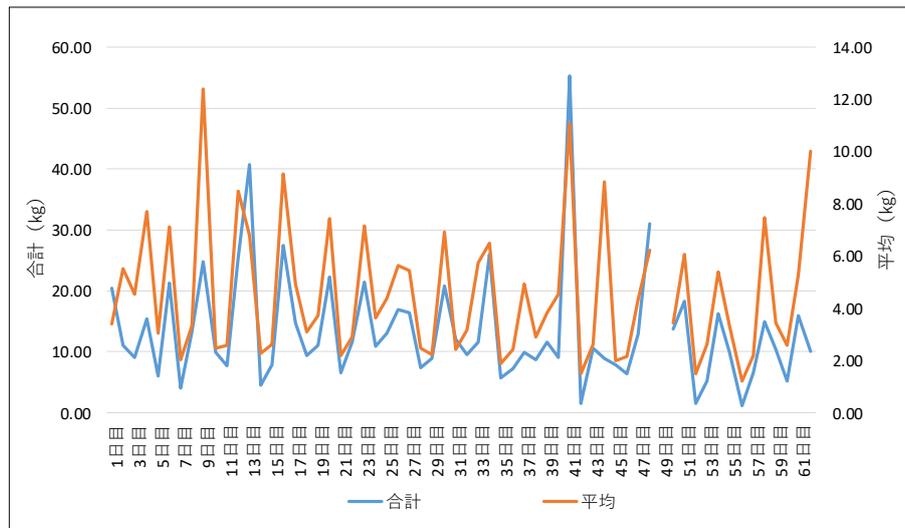


図 1-6-2(2) 可燃ごみ排出量の時系列変化 (川俣町)

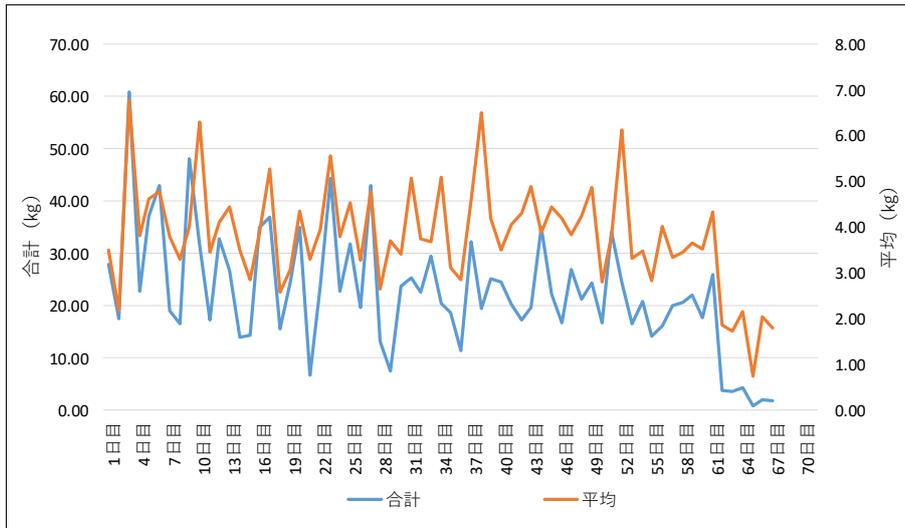


図 1-6-2(3) 可燃ごみ排出量の時系列変化 (南相馬市)

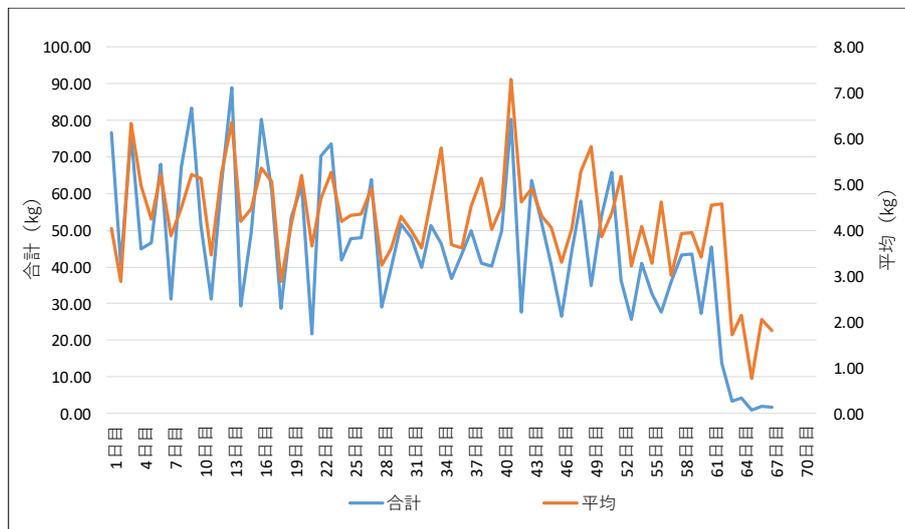


図 1-6-2(4) 可燃ごみ排出量の時系列変化 (全体)

### 1-7. コンポストに投入した生ごみの種別

コンポストに投入した生ごみの種別を市町村ごとにまとめた結果、各市町村で野菜くず、果物の皮、残菜・残飯の割合が多い結果となった。また、他の種別についても各市町村で同じような割合となっており、地域ごとの違いは見られなかった。

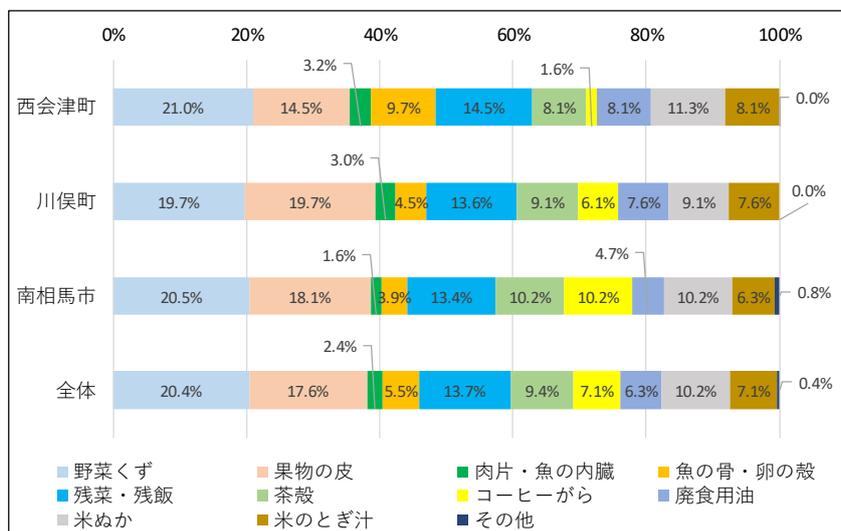


図 1-7 コンポストに投入した生ごみの種別

### 1-8. ごみ減量に対する意識の変化

モニタリング実施後のごみ減量に対する意識の変化は、大変高まった・高まったが、西会津町では 92.9%、川俣町では 53.8%、南相馬市では 71.4%となり全体で 7 割以上の方の意識の向上が見られた。特に西会津町では無回答の方を除き、すべての参加住民で意識が高まった回答となった。(端数処理のため図の数値と異なる場合があります。)

また意識が変わらないは、川俣町では 30.8%、南相馬市では 25.0%となり全体で 2 割程度となった。意識が低下したは、川俣町で 7.7%となり全体で 1.8%と低い値となった。

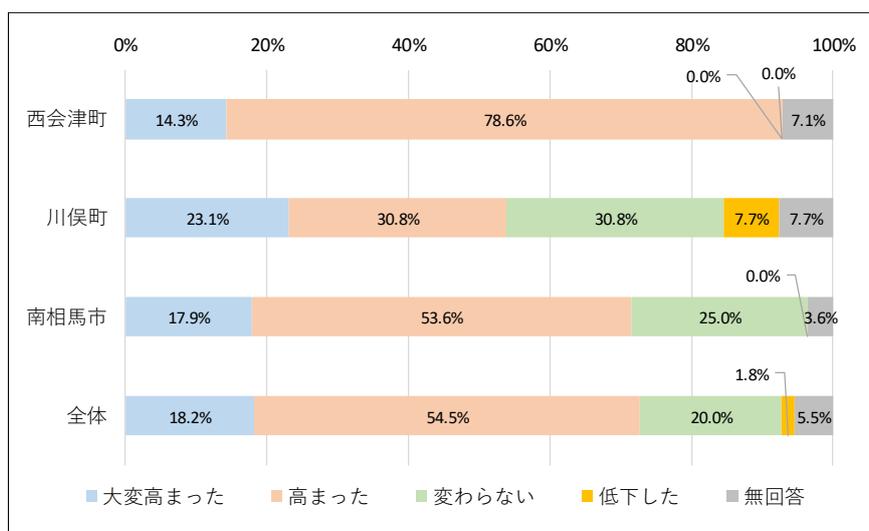


図 1-8 ごみ減量に対する意識の変化